

オール新潟による『次世代医療人』の養成

超高齢化社会の課題

- 高齢者疾患の増加とくに誤嚥性肺炎や生活不活発病など
- 変容する高齢化社会の状況把握や分析の不足
- 厚労省「健康日本21」でも取り上げられているソーシャルキャピタルなどの社会指標と地域の健康水準との関連は未知数
- 「治す医療」から、「生活に寄り添い支える医療」へのニーズの拡がり

新潟県の地域的メリット

多様な地勢

豪雪地・離島・平野部・山間地から都市部まで広がる
多様なフィールド

明日の日本を 映す鏡

- 高齢化率40%!!超高齢化を20年先取りする中山間地
- これから高齢化する都市部など多様な人口分布

〈オール新潟〉=人だけでなく多様な地域、組織、職種も含めた連携

人的資源

- ・新潟大学地域枠医学生(12名/年)等
- ・疾病予防、健康増進および介護予防活動に関心を持つ医療系学生
- ・総合診療医を目指す初期/後期研修医

新潟大学医歯学連携

01 次世代医療人育成センター

医学部および歯学部各診療科、歯科衛生士、
更に言語聴覚士などの連携により、
口腔ケアに関する講義、実習、研修などを担当する

●次世代医療人養成コース●

H26年度以降5名
医学科
プライマリコース
(3年間)

H28年度以降10名/年
初期・後期研修医・大学院生
アドバンスドコース
(5年間)

03
地元自治体
住民

06
佐渡
プロジェクト
魚沼コホート
スタディ

02
新潟
医療福祉
大学

新潟薬科
大学

04
新潟
医療人育成
センター
シミュレーション
センター

05
魚沼基幹病院
魚沼地域
医療教育
センター

新潟県地域医師会

- ・医学教育・医師確保
等の面で緊密に連携

予防的視点・機能回復そしてリサーチマインドを兼ね備え、
「健康長寿社会の実現」に寄与する総合診療専門医

『次世代医療人』の養成